



子ども達が
自然に良い時間を
過ごせる空間



自由学園
みらいかん

JIYUGAKUEN MIRAIKAN

「みらいかん」の主な活動内容

- ・自由学園幼児生活団幼稚園の未就園児と保護者の集まり「ことりぐみ」
- ・自由学園幼児生活団幼稚園の預かり保育「かるがもグループ」
- ・自由学園初等部生の放課後のための「JIYU アフタースクール」

みらいかんの『役割』

子育てのあり方や子育てをめぐる環境が多様化する中、子どもたちの成長にふさわしく、安心して安全な場所をどのように整えるかという問題は、社会が抱える大きな課題の一つです。「生活即教育」という自由学園の教育理念を土台とし、「子どもたちが自然によい時間を過ごせる空間」として、また「こども・かぞく・みんなが育つこれからの学びのコミュニティ」として存在することを目指して活動を開始します。



みらいかんの『食』

自由学園の建物の多くは、食堂（ホール）と厨房（台所）を中心に構成されています。みらいかんにおいても、自由学園が大切にしている食の実践の一端を担えるように、充実した調理施設を備えており、手作りの食を大切に考えています。食事やおやつ作りに用いられるだけでなく、料理の講演、講習会など「食」にまつわる活動を行っていきます。

みらいかんの『特色』

みらいかんは、明日館から続く自由学園の伝統的な建築様式を現代的な解釈で継承し、南沢の周辺環境に配慮をした木造2階建ての建物です。木や土や石など自然素材を多く利用し、その材質の特性を活かした細部まで拘りのある空間は、子ども達の感性を豊かに育みます。良い時間を生み出すための創意工夫が重ねられた建物です。



みらいかんの『木』

みらいかんの建物には、自由学園の植林地で育てられた木材が有効に使われています。1966年に植林を開始した三重県海山（みやま）の檜材は構造材や仕上材として、1950年に植林を開始した埼玉県名栗の檜材は家具として、適材適所に利用されています。「将来この木で校舎を建てよう」と、生徒に語った創立者の夢が実現し、過去から現在、そして「みらい」へ繋ぐ、特別な思いが込められています。



一生につなぐ毎日がここにある

JIYU

〒203-8521

東京都東久留米市学園町 1-9-16

Tel : 042-422-3111 (自由学園代表)

E-mail : info@jiyu.ac.jp